

第 1 回 浜田市総合振興計画審議会議事録	
日時	令和 8 年 5 月 8 日（金） 18 時 30 分から 20 時 07 分まで
場所	浜田市役所 本庁舎 4 階 講堂 ABC

発言者	議事内容
▽開 会	
事務局 (政策企画課長)	ただいまから第 1 回浜田市総合振興計画審議会を始めます。今回は第 1 回目ということで、まずは会長副会長を決めさせていただくということと、市長からの諮問ということ等から始めさせていただく予定としております。会長が決まりますまで、私が司会を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。
1 委嘱状の交付	
事務局 (政策企画課長)	審議会委員に委嘱状の交付をさせていただきます。本来ですと、三浦市長からおひとりずつお渡しいただくところですが、時間の都合もあり、大変申し訳ありませんがお手元への配布とさせていただきます。任期については、本日から 4 年間、令和 12 年 3 月 31 日までとさせていただきますのでよろしくお願いいたします。
2 市長あいさつ	
三浦市長	まずもって、皆様には大変お忙しい中、本日の第 1 回審議会に参加いただき、誠にありがとうございます。先ほど審議会委員を委嘱させていただきましたが、今後この計画策定にあたって、皆さんからは忌憚のないご意見をいただきながら、いい計画を進めてまいりたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。 この総合振興計画ですが、今浜田市は、平成 27 年度に第二次浜田市総合振興計画を策定しまして、基本方針、基本構想、それから 7 つの大綱に沿って、これまでまちづくりを進めてまいりました。昨年 10 月に選挙で今職を預かることになり、今延長していますが、第 3 次の、それに続く総合振興計画を作ろうということで、皆様にご協力をいただきたいということになっております。 「育ち、育てる、浜田へ」という、一つのビジョンというか考え方を皆さんにお示ししながら、選挙を戦い、この 3 月に議会でも承認をいただいた当初予算もその考え方に沿って予算組みをしたわけですが、個々がそれぞれ意思を持って育っている、育ちを実感する、そしてその育ちをお互いに育て合う、育て合える、そういう浜田を作ろうということで掲げております。これは決して教育とかそういった部分に限ることではなくて、福祉だったり、産業振興だったり、あらゆる分野に関わることだということで、根底におきたい考え方として今も思っておりますので、この考え方と、そしてこれから皆さんにご審議いただく計画がしっかりリンクしながら、そうした将来像を、行政だけではなくて、市民の方々、そして浜田にそれを作っていこうとする、浜田に関わりたいたいと思ってもらえる方々と一緒に、その計画に則って活動していきたいなど、そういう計画を作りたいなという強い思いでおりますので、皆さんへ重ねてのお願いになりますけれども、ご協力をお願いしたいというふうに思っております。 課題も多くて、人が減れば、今までやっていた活動量がもちろん減退してしまって、これまでのやり方、取組が通用しない。そういったところを目の当たりにされている。

	それは皆さんそれぞれの現場で抱えておられることだと思います。ですから、新しいことにも積極的に挑戦しながら、互いに助け合える、そういう関係性を確保した計画を基に、みんなでこれを掲げながら取り組みたいというふうに思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
3 会長及び副会長の選出	
事務局 (政策企画課長)	初回ですので、委員の皆さんの紹介をさせていただきます。 時間の都合上、私からお手元の名簿の順にご紹介させていただきます。 【委員を名簿順に読み上げて紹介】 続きまして、この審議会の会長と副会長を選出いただきたいと思います。 選出に当たりまして、まずは、当審議会の概要を説明させていただきます。 【審議会の概要説明】 それでは、会長と副会長を互選により選出いただきたいと思います。選出方法につきまして、ご意見などがありましたらお願いします。
村井委員	提案がございます。今回はメンバーがずいぶん変わっており、初めての委員の方が多いと聞いております。その中で選ぶというのもなかなか難しいと思いますので、もし事務局の方で提案がございましたら、それを提案していただければ大変喜びます。いかがでしょうか。
事務局 (政策企画課長)	ただ今、村井委員から、事務局から提案というご意見をいただきましたが、皆様よろしいでしょうか。 【委員から拍手あり】 ありがとうございます。それでは、事務局の方から提案させていただきたいと思えます。 会長につきましては、前任から引き続き林委員へお願いできればと考えております。副会長につきましては、男女共同参画の観点からも前回に引き続き女性の方へお願いできればと考えております。そういった点を踏まえまして、識見者の委員の枠で選出されておられます村岡委員に副会長をお願いできればと考えておりますがいかがでしょうか。 皆様の拍手をもってご承認いただきますようお願いいたします。 【委員から拍手あり】 皆様の拍手によりまして、会長には林秀司委員に、副会長には村岡詩織委員に決定いたしました。 それでは、林会長と村岡副会長には、席を中央に移動いただきまして、ごあいさつをいただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。 【会長、副会長あいさつ】
4 第3次浜田市総合振興計画 前期基本計画の諮問について	

事務局 (政策企画課長)	続きまして、三浦市長から林会長に対しまして、第3次総合振興計画前期基本計画策定にあたっての諮問を行います。 三浦市長と林会長は中央へお願いします。
三浦市長	【諮問文を読み上げ】なにとぞ、よろしくお願いいたします。 【書面を林会長に手渡し、写真撮影】
事務局 (政策企画課長)	ありがとうございました。以上で、市長からの諮問を終わります。 それでは、この諮問をさせていただいた内容で、これから委員の皆様には第3次総合振興計画の素案等をまとめていただき、年内、12月末までのところで皆さんにまとめていただいたものを答申いただくという流れで進めていきたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いいたします。 ここまでのところで、ご質問はありませんでしょうか。 (質問なし) それでは、ここからの議事進行は、林会長に行っていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。
5 説明 (1) 第3次浜田市総合振興計画 前期基本計画 策定方針について	
林会長	先ほど諮問いただきましたので、まずはこの計画に関する説明をいただきたいと思います。
事務局 (政策企画課長)	【資料1について説明】
事務局 (さとゆめ)	【資料2～6について説明】
樫山委員	今回、第3次ということですが、第3次策定にあたって、第2次との関係はどのように捉えればよろしいのでしょうか。 第3次を策定するにあたり、第2次があったものとして扱うのか、それとも、なかったものとして次の策定に入ってよいのかという点です。令和8年度終了の計画ではありますが、途中段階でも、いわゆる問題点や課題などが出てくるのではないかと思います。そうしたことを踏まえた上で、第3次を見据える必要があるのではないかと思います。その点については特に触れないということではよろしいのでしょうか。
事務局 (政策企画課長)	当然ながら、現在、第2次についても今年度までの計画として進めております。また、審議会においても、令和8年度中に総合振興計画の進捗管理について皆様からご意見をいただくこととしております。 そうした中で、令和7年度の現状についても並行して整理を進めながら、次の第3次総合振興計画の中にも、反省点や今後どのようにしていくかといった内容を踏まえた上で、計画を策定していきたいと考えております。
(質疑応答) 資料2について	
樫山委員	この第3次振興計画の中で、第2次についての反省点などにも触れられるということですね。
事務局 (政策企画課長)	はい。まだ全体像について皆様にお示ししている段階ではありませんが、現時点の想定では、第3次の中で第2次を振り返る内容についても記載しながら、計画を作っていきたいと考えております。
樫山委員	分かりました。

林会長	第2次総合振興計画の進捗管理についても、この委員会の中で実施し、進行中の総合振興計画の状況をご審議いただくことになっておりますが、ぜひ次の第3次計画にも、その評価結果を反映させる形で取り組んでいただければと思います。 できるだけ早い段階で、委員会での審議を待つだけではなく、状況を整理して提示いただければと思いますが、いかがでしょうか。
樋山委員	よろしくお願いします。
(質疑応答)資料5について	
林会長	私もまだ理解不十分なところがございますが、リーディングプロジェクトを4つほど考えるということですが、現在どのようなものが考えられていますか。
事務局 (さとゆめ)	リーディングプロジェクトは、総合戦略の中でも、その先導的な役割を果たすプロジェクトとして位置づけたいと思っているのですが、今の時点で具体的なものがあるかといえば、そこはまだであり、検討していくというところです。
村武委員	先ほどから市民委員会のことが挙げられておりますけれども、様子がわかっておられない方もいらっしゃると思いますので、市民委員会について少しご説明をいただけたらなと思いますがいかがでしょうか。
事務局 (さとゆめ)	市民委員会について簡単に概要をご説明させていただきます。配布資料2として、今回市民委員会の結果というものをご準備させていただいています。 2ページ目をご覧ください。2ページ目と3ページ目に、市民委員会を2回開催したのですが、どのようなことを議論してきたかというところがここで整理されています。2ページ目が、第1回目ということで、目的としては浜田市が目指す8年後について、同じ言葉、同じイメージで話せる状態に到達するというところで2回開催させていただいています。1回目が、ワークショップのテーマ①が市外の人に伝えたい浜田市らしさ。ワークショップ②が、分野別の目指すべき姿、ワークショップ③がその目指すべき姿の実現に向けて必要な取り組みということで、皆さんにいろいろアイデア出しをしていただいたところがございます。それを踏まえた上で、3ページ目、これが第2回になります。第2回では、ワークショップ①で魅力を高める取り組み、ワークショップ②で守っていききたい機能。先ほどあった医療とか公共交通を守っていききたいという意見が多かったというところがまさにこういうところです。ワークショップ③で、最後に、もう一度次世代に受け継いでいきたい浜田市らしさ、これが皆さんにとって何なのかというところを言語化して、市民委員会には40名から50名程度参加いただいたのですが、皆さんで共有しながら共通認識に至ったというところがございます。雰囲気といたしましては4ページ目をご覧ください。 このような形で、ワークショップの風景であったりとか、参加した方々との写真、あとはその前提となる浜田市の将来動向として、人口がどれだけ減ってしまうのかとか、そういった前提条件を皆さんに共有しながら浜田市らしさであったりとか、魅力を高めるためには何が必要か、守っていききたいのは何か、将来世代に受け継いでいきたい浜田市らしさは何かというところで、ご議論させていただいたところがございます。詳細の結果は以降にあるのですが、そのような形でやってきました。
林会長	私からちょっと発言させていただきます。資料5に、基本理念と将来像、基本理念の設計方向として、歴史から見る浜田市らしさ、受け継いでいきたい浜田市らしさ、それを実現していくために攻めの機能・守りの機能をご整理されたと思いますが、歴

	史から見るのももちろん大事だと思いますけれど、一方で、浜田市の地域性みたいなことはここで検討されていないのかというようなことを疑問に思っていて、そこについては何か議論があったのか、これから検討していくのかというところはいかがでしょうか。
事務局 (さとゆめ)	そこは、今データ分析等も進めているところでして、例えば市民委員会では、浜田市は、広島市とかいろんなところにアクセスをしやすいと、中心性が実は高いという意見もいただいています。なので、所要時間を都市間で定量的に分析をしたり、あるいはその文化など、他都市と比べても強みとしてデータからも出てきたりというところも把握しているところではございまして、その辺を今後どのように盛り込んでいくかというところは、今後ご提示させていただけたらと思っています。
林会長	ありがとうございます。引き続きよろしく申し上げます。他にございませんか。
村岡副会長	同じページの 17 ページの基本理念の方ですが、トップページが「育ち、育てる、浜田」ということで書いてあります。これが前提というか、これがもう置かれた形で我々は議論をしていくのか、それともまた今後、ここも含めて何か変更の余地があるのかどうか確認させてください。
事務局 (政策企画課長)	先ほど申しましたように、今進めている中では、市長の所信表明であるとか、これまで皆さんに訴えられたような内容、あるいは市民委員会のご意見等を踏まえて、こういう形がいいのではないかということでの、たたき台としてご提案させていただいています。本当にこういった内容でいいのかということも踏まえては、皆さんにご意見を伺いながら進めるということです。完全にこれをコンプリートして進めていくということではないということです。
中野委員	2 つ質問がありまして、子どもワークショップの開催ということで 6 月に開催されるということですが、デジタル版はあまり想像がつかないのですが、リアル版は何人ぐらいの規模で、例えばどういうところで開催することを想定されているのかと、もう 1 つが、今回シンポジウムの開催目的が「同じ言葉、同じイメージで話せる状態に到達」というふうに書いてあるのですが、これがどういうことなのだろうかということと少し疑問を持ったので、そこを説明いただけるとうれしいです。
事務局 (さとゆめ)	まず、子どもワークショップの規模については 30 人程度を想定しています。リアル版の場所についてはここ、市役所 4 階講堂を想定しています。シンポジウムの同じ言葉、同じイメージでというところの具体的なイメージといたしましては、さっきのプログラムの中で、例えば外から見る浜田らしさ、内から見る浜田らしさで、その浜田らしさというものが何なのかということ、有識者とか関係人口の方に登壇して話していただきます。そのらしさというところを、聞いていただいている聴講の方も含めて、共通認識に到達するという意味で同じ言葉。イメージとしては、市民委員会で皆様からご意見いただいているものをイラストとして、ビジョンを見えたものとして作ろうと思っていまして、それが同じイメージでということで共有できたらなということ、これを原時点では想定しています。
久谷委員	資料の 17 ページで、外から見る浜田市らしさ、内から見る浜田らしさという文言がございまして、この浜田市が合併して 20 年で、旧の浜田市、それから旧的那賀郡、この那賀郡の中での各町村ありまして、それぞれにやはりその歴史というのがあり、浜田藩の領地だったり、津和野藩の領地だったり、そういうのがありますので、

	ひとくくりに浜田市らしさというのもなかなか難しいだろうなというふうに思います。そこら辺を考えると、結構まとめるというのは大変かなというふうに思いますが、どうなのでしょう。
事務局 (政策企画課長)	おっしゃられるように、古くは浜田藩、津和野藩といったところが浜田の中にもあったというようなところで、歴史のことを旧町村も含めて語っていくことや、どういったまとめ方ができるだろうかというところは、我々としても課題として思っております。 そういったところを、できるだけひとまとめにというイメージになるか、今後また皆さんにお示しさせていただきながら検討していきたいというふうに思っております。皆さんが、歴史から見る浜田らしさといったところで、しっかりとご理解いただけるような形にならないか、ご意見等を伺っていければというふうに思っております。
久谷委員	それからアンケートをこれからされるようですけれど、このアンケートというのは、設問の仕方によって回答も変わってくる可能性があります。いろんな視点というか、方角から見たアンケートの説明の仕方というものを一つしっかり考えていただきたいというふうに思います。回答を誘導するような形のアンケートにならないようにお願いします。
事務局 (政策企画課長)	アンケートの設問については、こういう意見を聞き出したいというようなところで設問等は考えていくわけですが、おっしゃられるように、ある一方向であるとか、誘導につながるようなアンケートの設問の仕方というのは当然考えておりませんし、皆さんにしっかりいろんなご意見をアンケートの中で答えていただけるような設問になるよう十分配慮して進めていきたいと思っています。
栗栖委員	こども計画にも関わっていたので、先ほどから、子どもに付く枕詞、次世代を担うというような表現が多いですけれども、今を生きている子どもの Well-being にも着目していただきたいので、それまでは何かと次世代を担う子どもという話ですけれども、ぜひ今生きている子ども、浜田で子ども自体が幸せかどうかということから言うと、次世代を担う子どもという表現だけではないということを、この会議の中で共通理解にしていきたいなというふうに思いました。
林会長	重要なお指摘かと思われますので、これはご配慮いただければというふうに思っております。
阪田委員	とにかくこういう福祉の分野で課題を出されますと高齢と子どもが出てくるのですが、障がいという部分が全く入ってきていないというのが非常に疑問に思っております。 浜田地域は精神障がいの方の施設もありますし、それから知的障がいの方の施設もあります。それから圏域の中には身体障がい者とか重度障がい者の事業所もありますし、発達障がいとか、そういうところにも積極的に関わってくださる団体もたくさんあります。そういう中で、やはり障がい者の権利というところもきちんと押さえたところの文言にしていいただければなと思っています。高齢の方も見方を変えると障がい者の一人ですので、そういうところにも視点を向けていただければなというふうに思っています。
事務局 (政策企画課長)	特に本日示させていただいた資料 5 の 24 ページの政策体系は、全部を網羅した形にまだなっておりませんので、おっしゃられたように障がい者、そういった部分の視点が抜けているところが当然あるかと思っています。

	また、この中ではまだ拾えてない部分があるのではないかというふうに思っています。ご意見等もですし、事務局の方で修正等を行ったもので当然ご議論いただきたいというふうに思っていますし、そういう漏れがないように、計画の中でしっかり謳っていけるよう、今後 2 回目以降の審議会の中でご議論いただければというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。
長藤委員	すごくたくさんのワークショップで意見を取られるということで、これをまとめるのはすごく大変そうだなというのが個人的な意見でございます。 ただ、この市民委員会もですが、これに出てこられる方は結構限られていますし、結構重複されていることが多いので、またパブリックコメントをされるということですが、これにわざわざコメントされる方も結構限られていると思いますので、どういう形でこのパブリックコメントを実施されるかを教えていただきたいと思います。
事務局 (さとゆめ)	いろんな方々に、総合振興計画に興味関心、期待感を持ってもらいながら、能動的にまちづくりに参画していただくというのはすごく課題であると思っています。 パブリックコメントの時にも、いきなりパブリックコメントをすると、当然興味関心がすごく高い人しか回答が来なかったりもしますので、広報誌を使って段階的に、例えば市民委員会でこういう結果状況でしたというところとか、定期的に情報を発信していきながらパブリックコメントを実施するという、そういったやり方を考えています。
林会長	私も問題意識として持っておりましたけれど、いつの間にか総合振興計画が作成されていたみたいなことでは困るので、ぜひ市民の意識を高める、関心を高める取り組みは積極的に取り組んでいただきたいというふうに思っています。
中島委員	今回、幸福度というのが新たに出てきた項目ですが、23 ページの、「基本理念に関する目標の設計イメージ」には、育ち育てる浜田とあり、市民の幸福度は 1 行しかないですけども、資料 6 の 42 ページのところには、Well-being のところで人生満足度・幸福云々、生活環境 27 項目、ずっと来まして全部で 14 問というふうに書いてあります。幸福度の指標は 1 つだけではなくして、何点か想定をしておられるということでしょうか。
事務局 (さとゆめ)	幸福度につきましては、0～10 点満点で幸福かどうかで点数付けで回答していただくというところを想定しています。 アンケート要素の中に生活環境 27 項目とか他の項目もありますが、これは、その幸福度に対して関連性のある因子が何なのかということの分析をするために把握するというところがあります。例えば友人関係が多いとか、そういったところで点数付けしてもらって、人付き合いが多い人は幸福度が高い傾向にあるとか、そういった分析をするために、いろんな設問を用意しているというところがございます。幸福度自体は、0～10 点の満点の点数付けで把握していくことを考えています。
村岡副会長	先ほど来、委員の皆様がおっしゃってきていることと全てオーバーラップするかもしれませんが、今お話のあった幸福度とか、例えば、最初にすごく低い点数が出たとします。それは市の施策としては低い評価というのは苦しいかもしれないですけど、見方を変えると、やはり問題をしっかり洗い出せているとか、市民の方が素直にご回答くださっていること自体がすごく喜ばしいことだというふうに考えています。なので、そういう何かスコアみたいなのが出るときの評価の仕方自体も、市の中でどう捉えていくかということも整理していただきたいなと考えています。先ほどもアンケ

	ート用紙のところもありましたけれども、参画という意味ではいろんな主体の方に配慮されていて、いろんな参画の仕方自体がすごく喜ばしいなと思って拝聴しておりました。一方で、質問項目がやはり満足度とか好きのところみたいところが前提になっていると、どうしても答えにくいみたいところも出てくるかもしれないので、その項目自体の心理的安全性みたいな、問題点も出しやすくなるような全体の設計、位置づけもしていただけると、特にスタートの時点ではそうしていただけると、いろいろ現状もはっきりしてくると思います。
事務局 (さとゆめ)	幸福度の評価の仕方については、一時点だけでは評価ができないので、定期的にモニタリングすることによって、なぜ上がったか下がったか、それがどの年齢層とか、そういったところの評価の仕組みは今後作っていかないといけないなというふうに認識しています。 アンケートの部分も、心理的安全性のところ、選択肢も決め打ちというよりは、その他という選択で自由に回答できることをちゃんと設計するとか、そういうところはきちんと留意しながら行うことを考えています。
6 その他（審議会日程、事務連絡）	
事務局 (企画係長)	第2回の審議会日程については、6月9日（火）を予定しています。また、第3回以降の審議会日程については配布資料1のA3の紙にあります黄色の部分の日程となっております。今のところはこの日程で進めさせていただきたいと思っておりますが、もし日程が変更になる場合につきましては、事前に事務局の方の方からご連絡差し上げます。 引き続き事務連絡をさせていただきます。 【報酬等振込口座確認書および移動手段等確認書等について説明】
▽閉 会	
林会長	以上をもちまして第1回議事を終了いたします。お疲れさまでした。